

Excel VBA スタンダード実技講座 カリキュラム

※実際にパソコンを用いる実技講座です。

1 日目 10 : 00～17 : 00 お昼休憩 1 時間+適宜小休憩	
VBA からオートフィルタを操作する	データ分析の基本であるオートフィルタを、VBA から活用する方法や知識を解説します。
VBA からワークシート関数を使う	VBA とワークシート関数を組み合わせて使うために必要な知識と技術を解説します。
配列	配列とは何か。どのように使うかなどを中心に、配列を扱うときの注意点を詳細に解説します。
オブジェクト型変数	オブジェクトを格納するオブジェクト型変数の概念を詳細に解説します。
セルの検索	セルの検索にはオブジェクト型変数が必須です。セルを検索するときのポイントや注意点を解説します。
2 日目 10 : 00～17 : 00 お昼休憩 1 時間+適宜小休憩	
VBA からピボットテーブルを操作する	ピボットテーブルは強力なデータ分析機能です。VBA からピボットテーブルを操作できると、さまざまな分析の自動化が可能になります。VBA でピボットテーブルを作成し、レイアウトし、さらに集計結果を取得する方法まで解説します。
複雑な条件分岐	VBA で条件分岐の基本は If ステートメントですが、それだけでは実務で使用するマクロを作ることができません。さらに複雑な条件分岐を可能にする Select Case ステートメントの使い方や注意点を解説します。
条件による繰り返し	Excel マクロでは、For Next による繰り返し処理が基本です。しかし、For Next では実現できないケースもあります。その時に活用するのが、条件による繰り返しの Do Loop ステートメントです。
CSV ファイルの読み方	CSV ファイルを開くと「001」が「1」になったり、文字列が日付に変換されたりします。それは CSV ファイルをブックとして扱っているからです。CSV ファイルの正しい読み込み方を解説します。
CSV ファイルの書き出し	これからの Excel ユーザーは、CSV ファイルの読み込みだけでなく、ワークシートのデータを CSV ファイルとして保存するスキルも求められます。シート上のデータを CSV ファイルとして保存する方法を解説します。

【達成目標】

- 1) Excel VBA を使ったデータ分析作業の自動化ができるようになる。
- 2) 配列の操作やオブジェクト型変数を使った操作ができるようになる。
- 3) Excel VBA を使った CSV ファイルの操作ができるようになる。